

【障がい児サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2021～実施報告書】

2021年8月1日（日）

実施：たはらサンドアート実行委員会

―― イベント概要 ――

- ・名称 障がい児サーフィン体験教室～海と日本プロジェクト2021～ supported by ocean's Love
- ・日時 2021年8月1日（日） 9時30分～12時00分
- ・会場 田原市若見海岸（新日本ポイント）
- ・概要 知的発達障がい児とボランティアによるサーフィン体験教室
- ・目的 サーフィン体験教室【海を体験しよう！】
- ・対象 知的発達障がい児
- ・主催 たはらサンドアート実行委員会
- ・協力 認定特定非営利活動法人 Ocean's Love

―― イベント結果 ――

参加者数：知的発達障がい児とその家族17名6家族、プロサーファー1名、ボランティア33名
メディア露出：中京テレビ

―― イベントの様子 ――



【サーフィン体験時】



【実施後集合写真】



【カルテ共有・目標設定シート】



【事前説明】



【準備体操】



【子どもの自己紹介】



【陸での練習】



【サーフィン体験時】



【取材を受けました】



【エンディング】



【子どもたちからのお礼とボランティアからメダルのプレゼント】



【サーフィンの合間に、砂で遊んだり、寝っ転がったりして、海を体感している様子】



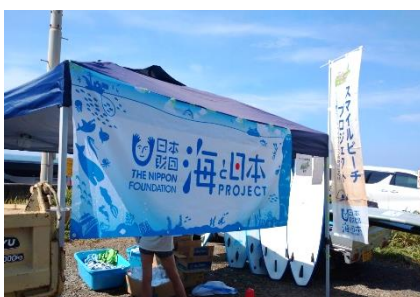
【サーフィン体験時】



【至学館大学の学生】



【記念品配布】



【受付】



【のぼり】



【サーフボード】

自然とふれあう「障害児サーフィン体験教室」開催 愛知・田原市

報道局・豊橋支局

2021/08/02 6:35



発達障害などの子どもを対象に、自然とふれあい楽しみを感じてもらおうと、障害児サーフィン体験教室が愛知県田原市で開かれました。

田原市若見町で行われた障害児サーフィン体験教室は、田原市の市民団体が自然の波と触れあうことで、感情豊かな子どもに育ててほしいと開催している行事です。

1日は田原市や豊橋市の小学1年生から中学1年生までの男女7人が参加しました。



慣れないサーフボードに初めは恐る恐るだった子どもたちですが、プロサーファーなどに助けられて波の上を滑る感覚に慣れると何度も海に入る子どもや積極的にボードに立とうとする子どももいました。

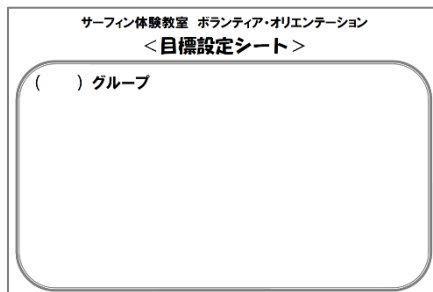
体験を終えた子どもたちは「次回も参加したい」などと話していました。

——障がい児サーフィン体験教室 実施レポート——

当日は天候も良く、暑い日でしたが、水分補給を随時促すなど熱中症対策を十分にし、トラブルなどもなく無事に一日を過ごすことが出来ました。参加された方やボランティアの方から「楽しかった」「想像以上に子どもの笑顔が見られて嬉しかった」などの感想や、保護者からは子どもたちの成長を目の当たりにして感激されたようで、お礼の言葉をいただきました。実行委員会としても、参加者の皆様の笑顔を見ることができ、達成感を得ることが出来ました。

【ボランティア事前説明】9：30～10：00

ボランティアの方々には参加者が来る前に集まってもらい、障がい児1名に対して、ボランティア3名のグループで対応するため、グループに分かれて自己紹介を実施し、受け入れる子どもの特性を記載したカルテを使って、配慮することなど情報共有をしました。その後、グループ毎に、本日の目標を目標設定シートに記入してもらいました。ボランティア同士がスムーズにコミュニケーションをとり、一つの目標をグループで意識することで、子どもが安心してサーフィンを体験できる体制づくりにつながりました。



Bグループ						
参加者						
保護者情報	性別	父	参加人数 (必ず記入)	1人	職業	
参加者情報	名前	コウ	年齢	10	性別	男性
学年	3年	中級	経験	短距離		
備考	趣味	音楽				
目標	穏やかに音楽を聴く(歌) トラえもん					
注意事項	細かい事、YouTubeを見てから次の行動への切り替え 見ること					
その他1	かみかみ(自分の手など) 水を飲んでもうことあり。音声言語不明な時は文字での会話をお願いします。					
その他2	服のサイズ140					
注意事項の他	同意する					

※事前に周知することで、理解が深まり、円滑に交流することができる

【受付・出迎え・自己紹介】10：00～10：30

ボランティアの方と一緒に、参加者家族を出迎えました。サーフィン体験を始める前に自己紹介をするなど各グループで障がい児とコミュニケーションを図る時間を設けました。



【サーフィン体験教室】10：30～11：30

準備体操を全員で行った後、ボランティアさん全員の前で、障がい児が自己紹介をしました。たくさんの人に見られている中、緊張しつつも自分のことを目の前にいる人に伝える経験となりました。その後、杉原康幸の指導のもと、ボランティアリーダーのサポートを受けながら、陸でパドリングや立つ練習をしました。その間に、リーダー以外のボランティアは、サーフィン体験時のそれぞれの位置や役割を確認するデモンストレーションを行いました。実際に海に入ってからサーフィン体験時には、ボードの上に座った状態で波に乗ったり、沖に出てすぐに立つ練習をしたりと子どもの障がいの度合いや年齢に応じた楽しみ方をしました。海に入る気持ちになるまで時間がかかったり、ボードの上につつ伏せになることを嫌がったりする子がいましたが、時間とともに慣れていき、乗り越える場面がありました。成長した瞬間の嬉しい気持ちを家族、ボランティアでハイタッチをして共有していました。

【エンディング】11：30～12：00

最後に、今回のイベントについての想いを改めて代表から伝えるとともに、参加した子どもたちからボランティアのみなさんへお礼を伝え、ボランティアさんからは手書きのメッセージ入りの折り紙のメダルを子どもたちに渡しました。拍手とともにあたたかい雰囲気に包まれる時間となりました。

